

報道関係各位

2018年10月31日

新たな経営体制への移行を決定
潮田洋一郎が LIXIL グループ 代表執行役会長兼 CEO に就任
瀬戸欣哉は LIXIL グループ 代表執行役社長を継続

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は、10月31日付で、瀬戸欣哉がCEOを退任し、11月1日付で、潮田洋一郎（現 LIXIL グループ 取締役 取締役会議長）が代表執行役会長兼 CEO に就任することを決定しました。

また、2016年6月より LIXIL グループの独立社外取締役を務める山梨広一が、11月1日付で LIXIL グループの代表執行役兼 COO に就任します。瀬戸は、2019年3月末まで代表執行役社長として、新体制へのスムーズな移行をサポートし、その後、山梨が後任として2019年4月1日付で代表執行役社長に就任します。なお、瀬戸は、2019年6月まで引き続き LIXIL グループの取締役を務めます。

さらに11月1日付で山梨は、株式会社 LIXIL（以下、LIXIL）の代表取締役会長兼 CEO 兼取締役会議長に、LIXIL の代表取締役 副社長を務める大坪一彦が、代表取締役社長兼 COO に就任します。

瀬戸は、2016年1月に LIXIL グループの代表執行役に就任以来、グループ内のシナジーの最大化に注力し、組織の簡素化、フラット化を進め、水まわり事業を担う LIXIL Water Technology (LWT) を LIXIL グループの成長を支える中核事業として強化しました。また、デジタル分野への投資を進め、新しい戦略を推進することで、業界を主導する体制を築いてきました。

また、報酬委員会および指名委員会のメンバーの変更についても決定しました。報酬委員会は、メンバーを5名から3名とし、幸田真音（独立社外取締役）が委員長に就任します。Barbara Judge（独立社外取締役）および菊地義信（取締役）が引き続き委員を務め、山梨広一および伊奈啓一郎は委員を退任します。指名委員会は、Barbara Judge が委員長に就任し、川口勉（独立社外取締役）および菊地義信が新たな委員に就任します。吉村博人（独立社外取締役）および幸田真音は引き続き委員を務めます。潮田洋一郎および山梨広一は委員を退任します。

なお、新たな経営体制や方針の詳細については、後日お知らせいたします。

■ LIXIL について

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在70,000人超の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXIL などのブランドを展開する、株式会社 LIXIL グループ（証券コード: 5938）は、2018年3月期に1兆6,648億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL について：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>